

季節ごとの養殖バスケットの挙動の変化とマガキの行動の関係の検証

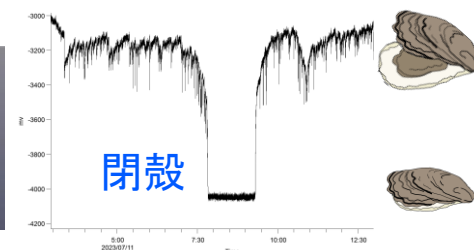
櫻田悠介, 富安信 (北大水産), 武山悟(厚岸カキセンター)

目的

カキを1個体ずつ独立した状態にし、養殖バスケットに入れるシングルシード養殖では、**養殖バスケットの種類によって中のカキの殻の開閉行動に違いがある**ことがわかった。そこで季節の変化と一緒に潮汐や水温も変わると、カキの行動にも影響が出るのではないかと考え調べてみた。

方法

7月(夏)と9月(秋)にカキの殻に開閉行動を測るセンサーを取り付けた。閉殻(殻を閉じる代表的な行動)の回数と時間に注目して季節ごとに潮汐や水温の影響を調べた。



結果

1. 半日周期的な潮汐変動(満潮や干潮)によって閉殻の回数や時間はあまり変化しなかった。
2. 半月周期的な潮汐変動(大潮や小潮)によって7月では大潮で閉殻の時間が長く、回数は少なくなるが、9月では特徴的な傾向はみられなかった。
3. 水温が上がると閉殻の時間が短く、回数は多くなる傾向がみられた